

令和元年実施 町政懇談会の記録(07高齢者)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)	担当課等
北黒田	6月28日	07高齢者	生活支援と専門職の連携	生活支援体制、医療・介護・福祉の連携について具体例や啓発はどうなっているのか。	生活支援については、介護予防教室等で啓発を行っている。医療・介護・福祉の連携については、伊予医師会・伊予歯科医師会・愛媛県看護協会などで構成する「松前町在宅医療・介護連絡推進協議会」を立ち上げ、現状把握、課題の抽出等を行っている。	健康課
北黒田	6月28日	07高齢者	健康増進事業	初めてのジョギング教室に65歳以上も参加可能としてほしい。	初めてのジョギング教室は、効果の高い30歳～64歳までを対象としている。教室に空きがあれば検討する。	健康課
出作	3月26日	07高齢者	地域包括支援センター	地域包括支援センターがどんなものか知らないので広報をしてほしい。	地域包括支援センターは、認知症対策、介護予防事業、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を行っている。あらゆる機会を捉えて、継続的に周知したい。	健康課
出作	3月26日	07高齢者	認知症対策	認知症高齢者は人口の約5%程度と聞いたが、町の認知症対策はどうなっているのか。	認知症対策は、認知症の原因によって対応が異なる。初期対応が重要であるため認知症初期集中支援チームを設置している。	健康課
鶴吉	6月26日	07高齢者	介護認定	介護認定調査に当たっては、家族等の心情に寄り添ってほしい。進行性の難病であるのに認定が下がることがあった。	介護認定は、介護の手に要する時間で要介護度が決まる。身体状況や認知状況の低下が要介護度に反映されない場合もある。家族の心情に寄り添ってほしいという意見は、持ち帰って担当課に伝える。	保険課
鶴吉	6月26日	07高齢者	介護保険	ケアマネジャーの役割は何か。家族の精神的負担を理解してほしい。	ケアマネジャーは、身体や認知の機能の現状や将来見込み、本人の希望等を勘案して、医療と連携しながら介護サービスを調整する役割である。家族の精神的負担は、ケアマネジャーに相談しても構わないし、保険課、健康課でも相談は受ける。それぞれ専門機関等への照会もできるので、家族が疲弊しないよう早めに相談をしてほしい。	保険課
東古泉	6月25日	07高齢者	健康寿命のための先行投資	町の予算で民生費の占める割合が高く、その中身は医療や介護、子育ての義務的経費が多いが、健康寿命を延ばすための事業予算はどのくらいか。	事業費ベースでの回答は困難であるが、介護予防事業や健康体操などの事業を実施している。事業の結果、松前町の要介護認定率は全国平均を下回っており、愛媛県下では最も低い状況である。	保険課 健康課
上高柳	6月6日	07高齢者	介護保険料	介護保険料は毎年上がるのか。また、介護保険を利用しない人に保険料が戻ることはないのか。	介護保険料は、3年ごとに基準額を見直すが、個人の保険料は、前年所得によって区分されるため、各年度で変更になる場合がある。保険制度は相互扶助の考え方が基本であるため、要介護認定を受けていない方について保険料の払い戻しはない。ただし、介護認定を受けていない方は、介護予防サービスを受けることができるので、是非ご参加いただきたい。	保険課
西高柳	3月20日	07高齢者	老人クラブ	老人クラブの集まる場の確保ができないか。	町で実施している空家対策事業を活用してもらいたい。	健康課